

北の物販大富豪 謁見音声 書き起こし資料

2014年9月11日 謁見収録 No.01



はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『うつ病セルフヘルプトレーニングeスクール』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



北の物販大富豪：

フィリピンはだいぶ、鉄板に近くなってきたか？

真田孔明：

フィリピンはそうっすねえ〜、まあ2ヶ月に1回くらいは行ってますけどね、平城さんとみんな
で・・・進捗見に

北の物販大富豪：

そっか

真田孔明：

フィリピンはあの〜、もうひとつは銀行の資本規制を外すって、大統領が発表したんで

北の物販大富豪：

ああ

真田孔明：

これはチャンスだなあと思うんですよね、銀行が融資し出すと思うんで。外国人に対して、日本ではあまり融資がなかったんで、外国と現地の銀行の比率、お金がだから、外国の人が入れられないんですよね、銀行が。今までは、それが撤廃されたんで、1個、あれがチャンスじゃないかと思うんですよね。たまにフィリピンも行かれていますか？

北の物販大富豪：

いや、行かない、昔はフィリピンに友達の家やなんだからにあって、そんなのがみんなトンで、開発踏んでなんかフィリピンにはあまりいい気がない、でも本当は好きな国なんだけどね

真田孔明：

どこですか？

北の物販大富豪：

フィリピン

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

これ今持って来た？

真田孔明：

今持って来たやつです



北の物販大富豪：

今持って来たよ、新しいパン

北の物販大富豪：

毎日遊んどる性格なんでどうしても、なんか1日経つのが朝起きる、ご飯食べたら風呂へ行く、10時昼ご飯食べると1時半、酒を飲んでるから・・・んで昼寝をする、3時半だよ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

そんな日程を送っているせいか、時間があっちゃう間。俺のすることは、ipad見て、今日の日本の株式とかさ、うちの株式とか、見るのは結果だけだよ、いや本当にそうだよ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

恥ずかしい話やけど労働するゆうもんがない

真田孔明：

羨ましいですね

北の物販大富豪：

それが俺のいいところなのか悪いところなのかわからないけど、そう思ってつきあっていただければ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

1番持っとるのは時間。限りなくもっとるのは時間やから。時間ある上で本当に、これでまた8時間、9時間寝れるからね、昨日もたかがゴルフを1回しただけで、11時から朝起きたら8時や・・・長い睡眠、昔から言うやろ悪い奴ほどよく眠る言う

真田孔明：

いやいやいやいや

北の物販大富豪：

俺は善人だと思うんやけど良く寝るのが事実



真田孔明：

この間も情報、ありがとうございました

北の物販大富豪：

あれは、あんたに教える訳にいかんかった、前は

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ハワイのとき、教えることはできたんや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あの時は、まだ待機開示できんのや。1年先から。

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

このあいだ8月1日に、7月31日に清算したら、[どうなんのこの後は?]そなこというたら

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

50%くらいいくんじゃないですか、お前ほんまかい！

真田孔明：

うんうんうんうん

北の物販大富豪：

彼はパーセンテージ好きやから

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

あれは、136%やから1年でね

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だからもう何パー言うたら、「もう50%くらいいくんじゃないですか?」、あやふやや

真田孔明：

東京のほうの方ですか?

北の物販大富豪：

そう、はずれたらお前承知せんぞ、いやそれであれ買ってから1番動いたのが、4,920円くらいまでついた

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

3,400~500円だったやつが、1回は売り抜けや、俺の場合せこい男やから

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

だから結果的にさ、今はまだ4,000円きって3,000円

真田孔明：

3,000いくらまで

北の物販大富豪：

600、700って原価に戻ってさ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

まだ下がったから、孔明さんどうどうと!



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

のこぎりの刃や

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

上がっていくというのは

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

絶対にね、一直線には絶対ならん、上がって下がりて上がって下がりてから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あがったら、ここで売らんとあかん

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

たまにそこから突き抜ける事もあるけれども

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

でもね、絶対これをやっぱね、のこぎりの刃のように山をとってった方が、絶対儲かる

真田孔明：

ああ



北の物販大富豪：

100回でも儲かる

真田孔明：

ああ100回、同じ奴だから

北の物販大富豪：

そう、1年間で見たらのこぎりの刃が100回あるから

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

のこぎりの刃のようにとってったらいい

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

毎日午後は遊んでね、その研究！研究をやってるんやから、今も●●さんだか●●さんだかがやってる●●●●●●が・・・見た？

真田孔明：

いや見てないです

北の物販大富豪：

本当？

真田孔明：

本当です

北の物販大富豪：

そういうのやってるんだぜ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

彼も、あんなのうちにいれながら、何万人やからね、あれ、一応聞いてると面白いよハーバード大学で金儲け教えたら、2,000万かかると



真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

●●さんという●●●●●●●●をたちあげた奴は、俺のところにきたら1,000万で金儲けを教えてやるこう言うてる

真田孔明：

すごいですね

北の物販大富豪：

いやいやだからハッキリだろろうけども、いや、なかなかのもん

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

おそらく当初は俺は知らんけども、●●さんが俺の・・・

真田孔明：

50いくつですね

北の物販大富豪：

っていう点では、●●●●●●●●立ち上げた奴は、あんたらぐらい・・・

真田孔明：

●●●●●●●●は僕より若いみたいですよ

北の物販大富豪：

そやろ

真田孔明：

ええ

北の物販大富豪：

そやろ、あの声は絶対若いし・・・でもあの方法はあんたには必要、絶対必要！

真田孔明：

あ、そこで教えてるやつが



北の物販大富豪：

いやいやそうじゃなくて、あの考え方が

真田孔明：

考え方

北の物販大富豪：

あんたもさ、東京案件とかパッパッパとめてね、割り算してしまった人はさ、口に出さんでも
買っとらんやつほど、孔明はすごいやつや思う

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

だから実績を作って、勝負にいけばもっといく

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

いつ死んでもおかしくない状態で生きとるから、毎日酒飲んで遊んでるやる？仕事という単語
を忘れてしまって、いやいや頭の中はちゃんと動いとるよ、いや、俺の考え方をはっきり言う
と

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

投資とかさ、商売とかさ、色んなもんあるやる？たとえば●●●●●っていうファンド会社持っ
とる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

●●●●●ってファミリーオフィス投資会社ももっとる

真田孔明：

ああ～マネックスみたいな



北の物販大富豪：

そうそう、もう何十年前からそういう発想があって、いまのその会社がよ、俺が知恵と汗をしぼって作った会社なのに、なぜかトリプルエンジンまでいかんのやて

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

トリプルエンジン・・・昨日も通知メールで、41%の・・・

真田孔明：

ああ、それすごいですね

北の物販大富豪：

出とるやろ？

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

うちのファンド会社のファミリーオフィスの●●●●●●も全然いかんの・・・

真田孔明：

う～ん、あれはすごい、あの案件は

北の物販大富豪：

そやろ？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

まだこれだけならいいよ、今回は、65年ものを買って、固定資産税がかかるんやから毎日怒られるわけよ、利益の中から固定資産税を払っていかなきゃならない、あんた、何千万払ってると思ってんの？バカ言ってんじゃないよって、辛くってさ、最近は、流浪人みたいに下向いてごめんなさいみたいな、いやだから俺はもう資産が、これくらいでいいわって

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

ショッピングモールもマンションも、薬局も老人ホームもデイサービスセンターもこれ以上はもういらんと

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

最近は売れ～売れ～言われる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

そんな余分なもんは、みんな売れ～って

真田孔明：

資産は

北の物販大富豪：

資産はいらない固定資産は問題やで、これは持ってみないとわからんよ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

持たん人は欲しがるわ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

持ってみると、バカな固定資産税払ってられるか？

真田孔明：

うん、日本であの～固定資産・・・資産持っちゃうと、下がる株に投資してるのと一緒にすもんね、借地とかでいいわけですよ、日本だともう

北の物販大富豪：

だからあなたの言ったフィリピンにその可能性が・・・ある



真田孔明：

ある

北の物販大富豪：

俺もそう思う、ただ、あんたの20年と63の俺が20年経ったら83やから、いかなもんかな、
というところのセーブがある

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

俺も、参鶏湯を飲んで、はやく健康になりたいな

北の物販大富豪（妻）：

あまり飲まないように

北の物販大富豪：

孔明さんのメールで1回、あのメール送ったんやて、まみむめあいうえおがはっきり書けない
というときに、彼がジョホールバルは鉄板焼きやゆうてね、俺はね、あの言葉にすごく反応し
てしまって、本当はね、真田孔明は俺はいないなと思ってたの、本当におったら、木刀で2,3発
叩いてやろうかなと言うような感じだった、それで来たやろ？グローバルに言うたら、いや孔
明さん知ってますってなんか言うからさ、だからその会えたお礼に買っただけだから

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

でも来てみたら、そんなに悪い所でもない

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

俺はね、前にショッピングモールがない、変な買い物に行くこともない、遠くから見たら結構
いいところや

北の物販大富豪（妻）：

過ぎしやすいですね



真田孔明：

過ごしやすいですね。気候もいいですね

北の物販大富豪（妻）：

気候もよかったね

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

いやそれより、この昨日、何とかジュースあれ良かったよ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

俺ほんと酒やめようかなと思ってたもん、マッサージ屋のあんちゃんに、孔明さんは孔明さんはって、耳元でよけい言うんやぞ、すごい人やと

真田孔明：

ああ、城塚さん！

北の物販大富豪：

城塚さん！いや、孔明はんの凄いのはわかってるけど、あの人は、参鶏湯と食事療法と気功やらで、ああなったんやゆうて

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪（妻）：

お酒を抜いてね

北の物販大富豪：

お酒を抜いて・・・やくざ者なんだぜっていう冗談を言うんだけど、実際やから、俺にしてみたら、これ実際には俺なんか投資ファンドも実際のものやろ

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

まやかしてもなんでもない

真田孔明：

なんでもない

北の物販大富豪：

だから現実ほど怖い物はないのよ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

あの、結果を知れば知るほど怖くなる、結果以外は真実じゃないから、あのね、秒速で1億とかバカなこと言う人もおるけど、でも大体おらんがな

真田孔明：

ああ〜いなくなっちゃうから

北の物販大富豪：

だからあなたのメッセージを読まなくても、投資ファンドのあれを見た人は、この世で結果発表したら、自分の作った結果が出るんだよ、あれのほうが絶対人間として大事だと思う

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

大体言っとるやろ？奥さんに幸せにしてやるよとか

真田孔明：

ああ〜

北の物販大富豪：

実行してはじめて幸せにできる

真田孔明：

ああ〜

北の物販大富豪：

いいよ、だから本当にできるんか？っていう事を俺は言ってる



真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

で俺は家では、ハイとイイエしか言わねえけど

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

それで、普通に言って実行するじゃん、言うだけなら乞食でも言えるから、（参鶏湯のこと）
飲むから参鶏湯、俺はそう思うよ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

俺は、だからいつも、奥さんはどう思うか実行犯で、実行できる男でありたいなあ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

で今はファミリーオフィスよりも、●●●●●は●●先に●をつけただけやから

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

ああいうイメージでつくった●●●●●

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

これからは少し●●●●●が儲かるように、図面を書こう

真田孔明：

ああ



北の物販大富豪：

図面が完成したら、全てが完成した事や、あとは実行だけやから、俺はもう実行犯やから、すぐできるようになるよ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

人を殺そうと思えば、ぱっと殺せる力がある、俺はだから俺は最近そういうこと思ってる。

北の物販大富豪：

ああ、孔明に言うた？、知恵の光明の光は、光るに明るいやよ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

知恵の光明は光るに明るい

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

知恵で金を設けるやる？それで人のために尽くしてあげるよ、光明は

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

仏さんが、こうやって線出とるやる？仏壇の、人に光を与えて人を幸せにしてやるという知恵を持ってる

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あんたの（孔明）はなんか、巧妙にだますみたいな字やけど

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

もしもし

真田孔明：

孔明の

北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

じゃあないんや、だから俺はもう、あんたはほとんど信じとらんけど、俺がハワイ行く時に、あやふやなこと書いとしてはあかん、人は結果出た時に、この男はすごいなと・・・結果のある男でなかったら価値がない、あんな皆あやふやな事書いてさ・・・

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

そう思わん？あやふやな事書いてもしょうがない、はっきりものを言うて結果を出す

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

それを50人いて50人の人は、あんたも割り算で・・・と思うやろ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

ほとんどの人が買っとらん

真田孔明：

ああ



北の物販大富豪：

ほとんどの人が買ってない、でも人の心ってのは動くわけ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

真実のない人には絶対心は動かん、俺はそう思う

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

いやあなたの計算通りの事を、配当金もらった男だからよくわかる

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

配当金もらったる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

1億単位でね、もっと桁おっておけるけど、ファミリーで貰っておる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

それをファミリーオフィスでどう増やかそうかと今、計算しとる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

で、そういう事も考えてみたい



真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

ここタバコ吸える店だっけ？

真田孔明：

あ！大丈夫ですよ！キャンユースモーク？スモーク？ノー？

北の物販大富豪：

ノーアウトサイドオーケ？

真田孔明：

最近あちこちでタバコ吸えなくなってきたもんね、昔は僕もスモーカーだったんですけど、ずっと学生時代から

北の物販大富豪（妻）：

もう、全然吸わないもんね

真田孔明：

やめちゃいましたね、吸える場所がなくなってきたってのもあるんです

北の物販大富豪：

孔明は、だからニコチンとアルコールと借金はいらない

北の物販大富豪（妻）：

そーね

北の物販大富豪：

まるっきり俺の真逆なんだよ、それでも俺をあんたが昔、自分は全然おぼえてらんけど、ジョホールバルに入った時に、ここのマンションの下かプールがついたやろ、俺あん時にメール送った

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

ジョホールバル？聞いたことないし



北の物販大富豪（妻）：

聞いたことないしね

北の物販大富豪：

現実を知らない男で、日本の借金がとかさ、ね、若いから知らないから、こんなばかなことを堂々を書けるのかなとずっと思ってた、で、ジョホールバル来たら居るんやて！びっくりして、で会ったから、まあまあ付き合いだから、1戸買っとこうかなと

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

ほんとは17階か18階買ったんやけど、また部屋が売りに出たからチェンジしたんやけど、でまあ26階になったんや、結構人間ってわからないものだよ

北の物販大富豪：

1番俺が大事だと思うのは信用で、やっぱ信用なくなったら、人間はもう価値ねえから

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

俺はさ、こういうタイプだから、俺はよくね、子供や孫には時間と金と約束さえ守ってればねえ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

どんなに極道みたいな生活してても、人は信用する

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

1番信用するのは、金融機関

真田孔明：

ああ〜、銀行ですか？



北の物販大富豪：

そう、こんなに柄が悪くても、40年1回も金を遅れた事もなかった、約束を守らなかった事もない

真田孔明：

はい

北の物販大富豪（妻）：

それは、大丈夫だった

真田孔明：

返済で？

北の物販大富豪（妻）：

返済で

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

時間も、病院の先生達も何を信用しているかというと、妻が（社長が）ゴルフに行くと、窓をパッと開けたら、ちゃんと車が止まってる、5分前に

北の物販大富豪（妻）：

しっかりもう・・・ちゃんと止まってる

北の物販大富豪：

だから、すごい、いやだからあんたは信用を得る事ができるの、あのね、信用の甘い人が金も得ることは絶対出来ん

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

ただ、俺は最近ねお前の文章力が嫌だわ

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

実際はどうか知らんが、投資信託は、年寄りになってからするもんだとかさ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

タイトル呼んで、いや確かにそや、俺も・・・よくこんなコピー打つな、いくつや

真田孔明：

37です

北の物販大富豪：

37？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

それ以上にさ、あの37、あのね、1つ教えてあげる

真田孔明：

いえいえ

北の物販大富豪：

俺も37で奥さんいたんやから、あのね37の時は友達をつくって遊ぶの、60すぎてみな8割はいなくなるよ、みんな飛んで（イスタンブール）

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪（妻）：

病気とか・・・みんなそうなってるの

真田孔明：

破綻したりとか？

北の物販大富豪（妻）：

そう破綻したり



北の物販大富豪：

そう、本当そう、大丈夫だよ、37だともういけいけばんばんでさ

北の物販大富豪（妻）：

そうそうそう

北の物販大富豪：

いや星にとってやろうかなって勢いやったんやけど、子供と友達はいなくなったね

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

この長い37か57の20年やからね

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

わかるか？

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

37言うたら、20年経ったら57やぞ？俺、それオーバーしとる、確実にオーバーしとるんや、自殺した主人が・・・わけのわからない話ばっかや、ほとんどは・・・トルコと、飛んで（イスタンブール）や

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

いやだから、やっぱそこら辺は注意して、だから、あの理想を追っかける人で、本当に手につかむ人は、時をとるひとは、10人おって1人か2人

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

10人おってやよ？

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

孔明なんて格好してんだよ、

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だから、脇固めて・・・だからまずは家族を守る

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

それから・・・だからそれは基本になるかなと俺は思う

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

おそらく本当に・・・いや星でも砕けるぐらいの37~8ったらそんなもんやった

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

いや俺にはバブルの（絶頂期）1番、37だった、ちょうどそういう時代やった

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

日本の株は3万、明日は4万と言われとった



真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

俺なんかもあの時に、クルーザー買ってBMの850買って・・・いけいけばんばんやった

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

あっという間に、そこから20年経って、こうやって見渡したら誰もいない、だ～れもない海って、結構寂しいよな

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ちょうどそんな波のなかにいたから、そんな事を感じたんだなって思ったりもするし、どうもはっきりわからん、スペインじゃなくてフランスじゃなくて、ジョホールバルにふれたことは確かにあるなと

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

で、あんたに言いたい事は・・・日本はさ、借金がある、抱えてる、あんたみたいなのが知らないだけや、日本が他国に貸してるお金もあるんや

真田孔明：

はい、300兆円

北の物販大富豪：

300兆円？

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

違うよ



真田孔明：

もっとあるんですか？

北の物販大富豪：

あるある、んでだから

真田孔明：

あ、国として貸しているのは300兆円で、法人として貸したりするのはもっとある

北の物販大富豪：

ちがう、だからなんで不景気になってる日本円を皆が買いにくるのかといえば、日本が1番資産と銭持ってるから

真田孔明：

バランスシートで見ると、1,000兆の借金があっても、資産もいっぱいある

北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

国の貯金も含めて、あれ●●さんから教わって、はっと気づいて、あんたはあれから書かんけど

北の物販大富豪：

●●さんだっけよく書いてるやろ今も

真田孔明：

はい

真田孔明：

危ないとか、借金だとか

北の物販大富豪：

いやいや・・・日本の国にはたしてるだけやから、あまり書いてほしくないなと・・・全部の人に理解はして欲しくはないけど

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

この間色んな事勉強したら東京の政治家が俺に言うやて、お前ね、本当に金持ちは、全部とは言わんけど、2500ccのベンツに乗って、シンプルイズベスト、東京の金持ち見てみると、ほとんどの人は無職やから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

無職とは仕事してないのが無職なんだよ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

無職なんだよ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

孔明よく聞けよ、ここが1番大事！必死に働くバカは、しょせんはバカだ、無職の奴が1番金持ち日本では、世界でも同じこと、タイに行ってみな遊ぶとこないから親の財産、土地も建物も相続しとる訳やろ、だから銀行が1番繁栄してるマレーシアに俺来たけど、法人作ってなんかメリットある？

真田孔明：

ないですね

北の物販大富豪：

ない？

真田孔明：

ない

北の物販大富豪：

メリットどこがある



真田孔明：

いやあの、●●さんに教わった方法、日本が1番メリットがありますね、銀行の融資を受けて、どう考えても

北の物販大富豪：

奥さん今聞いた？ことあるごとに違うメリットあるけど、毎日こうやって本当、働きたいな。もう手が後ろに縛られてちゃ働けないけど拘束された状態や

真田孔明：

今、そっちあの、うちの弟とあと幼馴染の酒井君ってのがいるんで、サッチェル酒井って、一緒にちょっと今やってるんで、はい

真田孔明：

どんな方法も、ファイナンスに勝るものはないですね、銀行からの・・・それがわかりました、最近本当に

北の物販大富豪：

あのね、酔っ払ったから教えるわけじゃないけど、うちはいまコンマ7ぐらいだよ・・・で借金しとる

真田孔明：

コンマ7

北の物販大富豪：

0.7%

真田孔明：

それって、日本銀行が調達するより安いっすね

北の物販大富豪（妻）：

文句ばっか、借りてほしいって、文句ばっか

真田孔明：

すごいですね、薬局っていう薬の流通がやっぱすごいんじゃないですね、あの国がいくら使ってるかみたら50兆円のうち30兆円を医療で使ってるじゃないですか

北の物販大富豪：

そうそう



真田孔明：

しかも国民は、みんな保険を払ってるじゃないですか、そこだから営業いらないですよ、薬局の場合は

北の物販大富豪：

詳しいね、凄いこと言うね、ネットで提携しているからで

真田孔明：

ええ、ええ

北の物販大富豪：

ねえ、全部銀行振込やる、集金に行く必要もまったくない

真田孔明：

ああ～、本当に、営業もいらないですよ

北の物販大富豪：

そう！

真田孔明：

すごいですよね

真田孔明：

ここはやっぱり1番強いところ、日本で、最強ですよ、やっぱり、うらやましいくらいに・・・
だって国民が、あの消費者が自分のお金払わなくていいんですよ？全部保険ですもんね

北の物販大富豪：

そうや

真田孔明：

今、仲間に●●大学の精神科の先生と、あと京都のお医者さん、先生の2人いるんですけど、
はい、それで東洋医学を販売したりしてるんですけど

北の物販大富豪：

ふ～ん

真田孔明：

薬局・・・薬の販売が、本当に夢ですよ、物販やる上での・・・



北の物販大富豪：

おお～

真田孔明：

なかなかできないですよ、既存のところがしっかりしていますよね、簡単に入れないっすよね

北の物販大富豪：

そうそう入れるかは利権の問題や

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

老人ホーム普通に買って2億や

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

それを先生に、3億、4億つけて組んでやれよ

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

そういうシステムを知らないのが（後から入れない）

真田孔明：

あれはすごいですよね、結局政治献金案件とかも、国のお金が入ってくるから、あれ確実なんですよ、回収が

北の物販大富豪：

頭ええよね、あれは諮問委員会に●●の社長

真田孔明：

ああ、●●●さん



北の物販大富豪：

●●●が入った訳や、日銀の総裁が下から袖の下でやっとなるわけよ、どうしたらグローバル配当（リート）2,000億円もどうやって入る？

真田孔明：

普通集まんないですよ

北の物販大富豪：

孔明は、まだ、そこしか知らんのや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

本当はここからもっと利回りが良くなるわ、グローバル・・

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

赤坂に住んでる人はみんな知ってる

真田孔明：

みんな知ってる？

北の物販大富豪：

知ってる・・だから、考えるよりも、情報を受け取った方が、いやはっきりした事がわかる

真田孔明：

そうそう

北の物販大富豪：

いや本当そうや、現状だからそんな事いうたらちがうけど、結果的にそうや

真田孔明：

そうっすね

北の物販大富豪：

結果的には・・



真田孔明：

そこにお金を払えるような立場に行くのは大変ですよ

北の物販大富豪：

ああ！今ね、券を売ったらええ

真田孔明：

券？

北の物販大富豪：

政治家のパーティー券や

真田孔明：

ああ、そうなんですか？

北の物販大富豪：

いや、●●の最後で、1枚で

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

来年はお前いけ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

俺もパーティー券持ってるけど、みんな取りに来る

真田孔明：

そのパー券があると、そのパーティーに参加して、それでパートナーが見つかる見たいな感じですか？

北の物販大富豪：

そうそうそうそう。

北の物販大富豪：

来る気持ちあったら



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

会場入るのに2万

真田孔明：

そんなに安いんですか？

北の物販大富豪（妻）：

2万で入場

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

いやいや、日本の電車の見送りの入場券や

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あれ2万円？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

電車のチケットじゃねえやな

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

わかる？

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

あの電車の駅の入場券、見送りのための入场券あれが2万円

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

電車のチケットなら3枚分、じゃあ2万円、んで俺に名前変えとくから、いやいやどこにもつながらへん

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

んで、やんちゃは入れる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪（妻）：

その間に電車が来るから

真田孔明：

こっちもやっぱしっかりしないと、あれですよ、実体がないと

北の物販大富豪：

東京案件って書いてあって、あれは嘘っぽいから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

でもね

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

孔明が思ってるほど、政治家はやわじゃね～よ



真田孔明：

あの世界は、上に登るのは

北の物販大富豪：

そう、それもあるし、間違った事一言、言うから、「なに言ってんだよおめ〜は、バカじゃね〜の」、バーンって

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

そういう世界、激しい世界だ

真田孔明：

なるほどありがとうございます

